

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス ジャンプステージハート 保護者等数(児童数)10人 回収数 7人 割合 70%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7			他の事業所に比べ、広い活動スペースがあり、明るい雰囲気がとてもいい	運動・学習・個別指導できる部屋割ができています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7			様々な分野の先生がいらっしやり、とても心強い	臨床心理士・言語聴覚士などの専門の先生を配置している。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1			対象児童がいない。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	6	1		親視線だけでなく客観的に子供を見てもらい、課題について必要な計画が作成されていると思う	臨床心理士・言語聴覚士などの専門の先生を配置して日々サービス向上に取り組んでいます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	5	2		夏休みには野外活動を通して、色々な体験をし、とても生き生き楽しんでいました	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3			月に一度の地域の子供達をうけいれた無料開放日を行っている。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7				児童発達支援管理責任者が丁寧に説明をしている。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7			送迎時に色々と事業所での様子を教えてもらえ、相談にものってもらえ助かっている	定期的に事業所でご家族が参加できる座談会を行っています。またご家族でできるセルフケアなども行っています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	2			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	4		座談会で親同士の交流ができ、とてもいい機会になり、今後も続けてほしい	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	3			相談員・心理カウンセラーが常駐しているので定期的に母子通園してもらいサービスをうけられるようになってきている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7				日々カウンセリングを実施して親御様にも情報の共有をしている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1			毎月事業所の便りを発行して情報を共有している。
	14 個人情報に十分注意しているか	7				鍵付きのロッカーに保管してある。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	4		お知らせの手紙をもらい、助かっている(台風時、感染症など)	看護師による緊急時の対応や感染の研修会も行っている。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	4		避難訓練がどのように行われ、地震などが利用時にあった場合、どこに避難するのか知りたい	半年に一度の訓練を行っている。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	7				運動・心理・言葉の授業の流れが子供達の来所のモチベーションにも影響をあたえている。
	18 事業所の支援に満足しているか	6	1		利用するようになってから、親子共々たくさん成長でき、助けられています	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。